

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年09月19日

計画の名称	ひたちなか市防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	ひたちなか市													
計画の目標	地域防災計画で避難所として指定している中根小学校，勝倉小学校，市毛小学校，堀口小学校，高野小学校，津田小学校，外野小学校，那珂湊第一小学校，那珂湊第三小学校，勝田第一中学校，勝田第二中学校，佐野中学校，大島中学校，田彦中学校，新設統合校周辺において，災害時に安全に移動するための避難路整備や，公園等の一時避難所整備等を集中的に実施するとともに，学校周辺の交通安全対策を実施することにより，防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		404	A	379	B	0	C	25	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	6.18	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	小中学校周辺において，災害時に安全に移動するための避難路整備や，公園等の一時避難所整備等を実施することで，防災対策に対する市民の満足度を年間1%向上させる。			
	ひたちなか市基礎調査（まちづくりに関する満足度）の防災対策（防災力の強化，防災基盤整備）に対する市民の満足度割合	32%	%	36%
2	市内の交通事故による負傷者数を年間10人ずつ減少させる。			
	年別交通事故発生状況の負傷者数	546人	526人	506人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	-	-	地区公共施設等整備（ひたちなか市地区）	道路拡幅整備，公園整備，ポンプ施設嵩上げ	ひたちなか市						379		-
											小計						379		
											合計						379		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	-	-	交通安全施設整備（ひたちなか市地区）	ガードパイプ設置，ポストコーン設置，避難路照明灯設置，側溝蓋かけ，カラー舗装設置	ひたちなか市						25	-	
		基幹事業の整備に併せ，学校周辺の交通安全対策を実施することにより，防災性と子どもの安全性向上を図る。																	
												小計						25	
											合計						25		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
ひたちなか市都市整備部都市計画課が実施	令和7年度
	公表の方法
	ひたちなか市公式ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・一部の地域を対象に避難路、一時避難地の整備を進めたが、市内全域を対象としたアンケート結果では、防災対策に関する市民満足度が上昇せず、目標を達成できなかった。</li><li>・避難路や通学路の拡幅、カラー舗装、道路照明灯などの交通安全施設の設置により、交通事故による負傷者数が減少した。</li></ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路の拡幅整備により、児童の通学時の安全性が向上した。また、緊急車両等の通行が容易となり災害時の動線が確保された。</li><li>・排水ポンプ施設の嵩上げや一時避難地（公園）整備により、地域の防災性の向上が図られた。</li></ul>
特記事項（今後の方針等）	
次期計画においても、避難路や一時避難地の整備を行う。 また、関係者との調整が難航している路線等についても引き続き事業の進捗を図っていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	防災対策に対する市民満足度		
	最 終 目標値	36%	一部の避難路および一時避難地について用地取得が難航し、計画期間内に整備を進めることができず、満足度が上昇しなかった。
	最 終 実績値	32%	
2	年別交通事故発生状況の負傷者数		
	最 終 目標値	506人	
	最 終 実績値	352人	